

## 研究会「社会システムと場所の質からよみとく北欧の「ふつう」の生活」

CPD 申請中

福祉国家として、福祉サービスを中心として様々な観点から脚光をあびた北欧諸国の社会情勢に変化が生じています。この10年をとると、EU化、世界諸国の関係の変化とともに、「北欧=福祉の国」といった短絡的なイメージでは語れない状況にあります。しかしながら、その生活は豊かで安心して暮らし続けることのできる「ふつう」の生活は保たれているようです。

この研究会では、北欧諸国をフィールドとして研究活動を展開してきた研究者の成果を通じて、北欧諸国の社会システムと場所の質から、北欧の「ふつう」の生活をよみといていきます。そしてより深く北欧の特徴を伝えるとともに、日本のこれからを考える機会としたいと思います。

主催：建築計画委員会 計画基礎運営委員会 環境行動研究小委員会

日時：12月14日（土）13:00～17:00

会場：建築会館3階会議室

内容：① 趣旨説明：西田徹（武庫川女子大学／小委員会主査）

② 北欧のデザインと「ふつう」の生活

- ・フィンランドのデザインと暮らし：石井敏（東北工業大学）
- ・スウェーデンのデザインと暮らし：水村容子（東洋大学）

③ 北欧のデザインと生活の実際

- ・スウェーデンとフィンランドの子どもの環境（仮称）  
：垣野義典（豊橋技術科大学）
- ・環境配慮型行動を組み込んだ生活環境の計画：スウェーデンの例  
：伊藤俊介（東京電機大学）
- ・フィンランドの高齢者の住まい：石井敏（前掲）
- ・スウェーデンの最後まで「ふつう」に暮らせる住まいと仕組み：水村容子（前掲）

④ ディスカッション

⑤ まとめ：橘弘志（実践女子大学）

定員：50名（申込先着順）

参加費：会 員 2,500円 会員外 3,500円 学 生 1,000円（資料代含む）

（当日会場でお支払いください。）

申込方法：氏名、所属、連絡先、参加資格（会員・会員外・学生）を明記のうえ

12月7日までにメールでお申し込み下さい。

申込み・問合せ：水村容子（東洋大学）mizumura@toyo.jp